

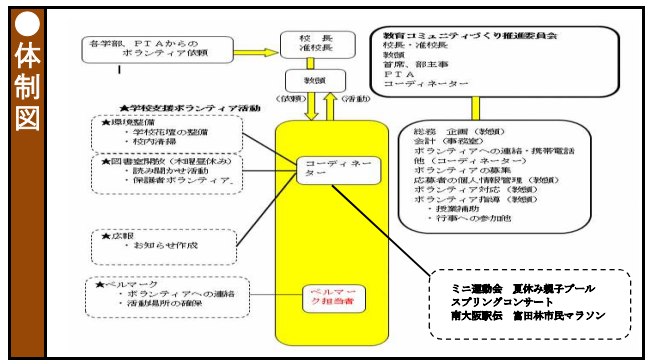


子どもたちもボランティアもみんなが笑顔になる活動！

大阪府富田林市	●活動名 甘南備広場	●関係する学校名 大阪府立富田林支援学校
---------	---------------	-------------------------

協働活動開始年度	平成 20 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	52 学級	のべ児童・生徒数	336 人
活動区分	学校支援活動		—		—		
	—		放課後子供教室		—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	—		—		2人		
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	
	平成30年4月1日設置		—	60人	—	—	
参考URL	https://www2.osaka-c.ed.jp/tondabayashi-v/						

●連絡先	大阪府立富田林支援学校	☎ 0721-34-1675
------	-------------	----------------



●活動の概要・経緯

平成20年度より、大阪府の学校支援地域本部事業としてスタート。学校支援コーディネーター等が中心となる教育コミュニティづくり推進委員会が推進組織となり、「できる人が できることを できる時に！」をモットーに、学校と地域、関係機関等をつないで、学校支援活動や放課後子ども教室、地域防災活動等を展開している。知的障がいのある児童生徒の学校教育活動への支援や安全で安心な放課後・休日活動の充実、交流機会の充実等の観点から、学校教職員や障がいのある子どもを持つ保護者、地域人材、関係機関等が一体となった活動を継続している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 学校支援活動…毎週木曜日昼休みに行う図書室開放では、読書ボランティア等による大型絵本の読み聞かせやペープサート、ヘルマンハープ演奏会等を実施し、毎回10～15人の児童生徒が来室している。
- 放課後等の居場所づくり…安全で安心な休日活動として10月末土曜日の「ミニ運動会」(約250名が参加)、1月末土曜日の「スプリングコンサート」(約100名が参加)等を実施しており、地域の方、保護者や卒業生も多数参加している。
- 防犯防災活動…体育館が富田林市の指定避難所であることがきっかけとなり、校区内の市町村と連携し、地域の方も関わる防犯防災活動へと拡充させている。

【実施に当たっての工夫】

学校運営協議会では、コーディネーターが中心となり、活動の目的を地域・家庭・学校が共有し、計画、実行、報告までを組織的にを行っている。コーディネーターの活動拠点として図書室を位置づけ、パソコンと椅子、机を整備し、ボランティアと教職員が集まって打合せや作業ができるようにすることで、コーディネーター機能を高く発揮している。また、拠点となる図書室には、地域の方、保護者、コーディネーターが集い、多様な活動を生み出している。防犯防災体制づくりでは、学校、市町村(教育委員会、危機管理部局等)と連携・協働し、地域の子どもの見守り活動や青パト活動と連携し、子どもの安全と保護者の安心を生み出している。活動の継続にはコーディネーター育成が必要であることを関係者全員が認識し、後継者育成のためコーディネーターを複数配置している。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

一般的に支援学校は通学区域が広く、地域との連携・協働は難しい面がある。しかし、富田林支援学校では、推進委員会が中心となり、平成 20 年よりはじまった図書室開放、昨年25回目を迎えたミニ運動会をはじめ多くの活動を継続させ、障がいのある子どもたちや、その保護者の方々のつながりづくり、学校と地域とのつながりづくりに貢献している。地域の方々が学校に関わることで、児童・生徒の障がい理解、子ども理解につながり、さらに、学校理解につながり、学校の応援団となっている。これらの取組みから生まれた人とのつながりが、障がいのある子どもを持つ保護者相互の子育て相談や支援、地域の方々の生きがいづくりに発展している。児童・生徒にとっては、多様な活動を通して、様々な大人と関わることで社会性が育まれ、よりよい成長につながっている。

● その他

学校を核にして、児童・生徒、卒業生、保護者、地域の方々の居場所づくりとなる活動を実施している。教職員が「地域と協働する」意識を持ち、児童・生徒のため、地域のために、主体的に行事等に参加している。



ミニ運動会「変身リレー」



ヘルマンハープ演奏会